

東三河支部

9月例会

- ・日 時：9月15日（火） 午後3時
- ・場 所：豊橋商工会議所 9階大ホール
（豊橋市花田町）
- ・出席者：21名

9月例会では令和3年に30周年を迎える当協会の記念事業のテーマが、SDGsへの取り組みなどを掲げられていることもあり、支部会員の皆様に向けて意識啓発となる例会を開催いたしました。

開会の辞を副会長竹内臨通夫氏、支部長挨拶を鬼頭秀幸氏、趣旨説明を研修指導委員長の柏原宏人氏が述べ講習会が始まりました。

例会は「SDGsと企業活動」と題して、加山興業

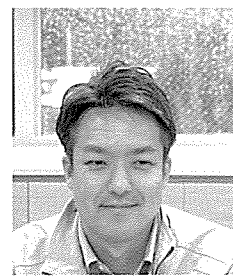
株式会社企画部部長 田島真一氏、同部 中嶋あゆみ氏を講師としてお招きし、プレゼンテーションスライドに沿って講義が進められました。

中嶋氏は基礎知識の概要で、SDGsは35か国200社のグローバル企業が参加しており、

の事例が紹介され、①廃棄物の管理や削減を目指す→12の目標 ②災害復旧支援→11、13、17の目標 ③自然エネルギー導入→7の目標 ④外国人研修生受け入れ→10、17の目標などの紐付けについての説明と、多くのゴールを目標として掲げる産業廃棄物処理業は地球の環境問題の解決に向け、循環型社会構築の担い手として大きく貢献していると感じますので、私たちの業務を誇りに感じていますと述べました。

また、SDGsカードゲーム（2030年までの世界をシミュレーションするというゲーム）の紹介と同社主催のSDGsカードゲームセミナー（企業内研修・一般開催）は数多く開催していますので、セミナー開催に興味のある方は気軽にお尋ねくださいとのことでした。

その後、同社の田島部長よりCSRやESG投資などから、利益だけではない企業価値にいまは注目されていると感じます。SDGsへの取り組みを企業に導入することは、社会的評価を含め企業価値を高めることができ、コ



講師の加山興業(株) 田島部長

2016年日本ではSDGs推進本部が設置され、2020年からは「行動の10年」と政府の取組方針について話しました。

その状況下において、SDGsは企業の成長にどの

ように関わってくるのかでは、経営方針・戦略の樹立が可能、人材採用が上手くいく、やるべきことに気付ける、新しいビジネスチャンス、など4つの効果が得られるとを挙げました。

そしてどのように産業廃棄物処理業の中でSDGsを実践していくのか同社

②企業にとってのSDGs
CSR活動事例（加山興業）

②SDGsで企業が成長する理由
経営方針・戦略の樹立が可能

企業の継続には…

時代のあった
経営方針の見直し
戦略が重要

何の為に会社か？
誰の為に会社か？
何を大事に思っている会社か？
環境を破壊していないか？
社会へ悪影響はないか？
社会の役に立っているか？
etc

②SDGsで企業が成長する理由
人材採用が上手くいく

就活生が就職先を選んだ基準

1位 社会貢献度が高い
2位 職場の雰囲気が良い
3位 仕事内容が魅力的

2017年度キャリア実践学生モニター調査結果

②SDGsで企業が成長する理由
やるべきことに気付ける

資源を大切にすることは
ビジネスの持続性を高めて…

今行っている事業の
コストカットにもなる！

②SDGsで企業が成長する理由
新しいビジネスチャンス

SDGs視点で市場を見ると
ブルーオーシャンが見つかる

ロナ禍で不安定な

社会の中であっても、社の存続につながるのではないかと述べ、講習会を終えました。鬼頭支部長は以前よりSDGsの勉強会を熱望されていました。

今回加山興業（株）の方にお越しいただき、支部の方の意識向上に貢献できたのではないかと感謝の意を述べました。